

## 地域やる気支援補助金

長野市版「都市内分権」の本格実施にともなって始まったこの補助金の、公開選考委員会が5月9日にふれあい福祉センターで開催されました。

若穂の『乗って残そう！屋代線プロジェクト事業』に976,000円



地域やる気支援補助金の予算枠は1千万円で、1自治協あたり百万円が限度。初めてということもありどんな展開になるか予想もつきませんでした。18自治協から全部で32事業の申請があり激烈な戦いに…。持ち時間各々6分間の中で説明と質疑がおこなわれたあと、7名の選考委員により点数方式で評価され、その場で結果が公表されました。(若穂の得点は3位)

## 中身を競う時代に?! 32事業の内、16事業に補助金…

《その他の交付対象事業は次のとおりです》

(円)

若槻	若槻地区子供相撲大会の開催	416,000
〃	外来植物、在来種等の撲滅	184,000
〃	ホテル観賞公園づくり事業	400,000
第三	落書き消去・防止活動支援事業	995,000
松代	インターネット動画サイトを活用した松代地区PRプロジェクト	408,000
古牧	「自助」がつくる防災地区づくり	1,000,000
更北	ホテルの郷再生事業	572,000
芋井	飯綱高原地域中核公園づくり事業〈オトナリ広場プロジェクト〉	240,000
戸隠	ノルディクウォーキング事業	740,000
鬼無里	生き行き健康教室	240,000
浅川	浅川地区をホテルの舞うりにしよう	640,000
第一	防災対策事業	783,000
芹田	特定小電力トランシーバー増置購入事業	420,000
篠ノ井	篠ノ井地区文化財説明板設置事業	776,000
第二	トレッキングコース整備事業	1,000,000

◆各地区からは意欲的でユニークな事業が申請されています。若穂は、地域をあげた課題の屋代線存続運動に絞って申請しました。この補助金は来年も継続されますが自治協のみが対象となりますので、来年の申請にあたっては若穂の各団体の意向や意見も含めて事前調整したいと考えています。◆地域やる気支援は従来の一律補助金と異なり、やる気や事業の内容が問われることになりました。その意味では32の自治協が、活動を競い合う時代に突入したということになります。

長野電鉄活性化協議会がおこなう「総合連携計画事業」(再生に向けた実証実験)が始まりますが、主な施策は7・8・9月の3ヶ月間に集中。

◆この期間にどれだけ乗客が増えたか？

◆どんな施策(事業)が効果的だったか？

その結果が屋代線の今後の判断に大きく作用しますので、

若穂自治協も《数字に表れる結果》が出せるよう取り組みます。



《遠足で電車を利用する綿内小の児童たち》



### ボランティア募集！！

《5月12日「できることあるある講座」の皆さんが、保健ステーション前で花壇づくり》



【問】自治協事務局

TEL 050-8686-5700 若穂有線 2062

e-mail wakaho.j@grn.janis.or.jp

プロジェクト・チーム屋代線は5月13日に会議を開催し

- ① 市の補助金が内定した『乗って残そう！屋代線プロジェクト事業』を、できるだけ早めて実施
  - ② 6月6日『電車にゆられて小さな旅・松代編』に100名目標
  - ③ 「総合連携計画事業」については
    - ・ 割引回数券(15%引きで2,300円分を2,000円で販売・有効期間7～9月)の購入を呼び掛ける  
(6月24日A9～P5に自治協事務局で販売予定)
    - ・ ミニイベントの実施や、各種団体などに電車を利用したイベントを実施するよう要請していく
    - ・ 会議や配布物、幟旗などにより積極的な住民PRをおこなう
- …を重点に取り組むとしました。

#### 【プロジェクト・チーム屋代線のスタッフをもっと必要です】

現在は団体代表や事務局を含めて20数名ですが、「イベント」「観光」「広報」「調査」の4つの分野に分かれて存続活動をおこなっています。屋代線の行方は今年が勝負どころ！『屋代線プロジェクト事業』などをスケールアップするためには、もっとスタッフが必要です。屋代線の存続を願う方なら、どなたでも参加できます。

#### 【ホームページの更新入力をお手伝いできる方】

今年度は外部発注して、自治協HPを全面的にリニューアルします。行事やお知らせなどを、都合のつく時間帯に事務局で適宜に更新入力していただける方を募っています(経験のある方歓迎)。また、自治協ブログに自宅のPCから記事を投稿していただける通信員スタッフも募っています。現在は6～7名です。

●「ほんわか・ほ支援金」は7月に募集予定。今年は50%アップの30万円を予算計上しました。

昨年度試行した「ほんわか・ほ支援金」は、執行会議で見直しをした上で7月に公募する予定です。若穂のまちづくり、地域づくりに活かしたい貴重な資金。希望される団体やグループの皆さんは今から検討を進めましょう。

●「地公連広報」の愛称を募集します。

地域公民館連絡協議会(会長□□□□)は広報を発行することになりましたが、地域の皆さまに親しまれる広報の愛称を募集します。募集期間は8月末まで。詳しいことは下記までお問い合わせください。(地公連文化部担当)

【問】自治協事務局(上記)または若穂公民館 TEL 282-2082 若穂有線 2151

